

1.2.2 工事の推移と現況

1) 工事量の全体推移

以下に示す推移は、前掲の一覧表をグラフ化したものである。

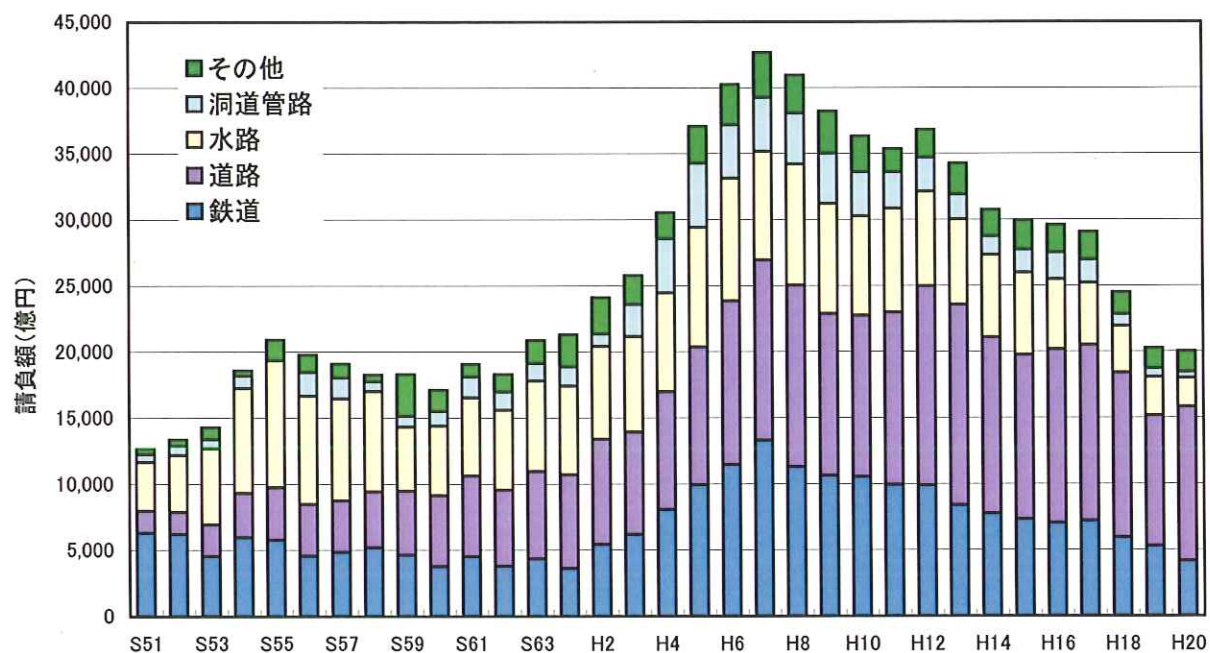


図-1 国内の工事量-請負額-の推移(地下街を除く)

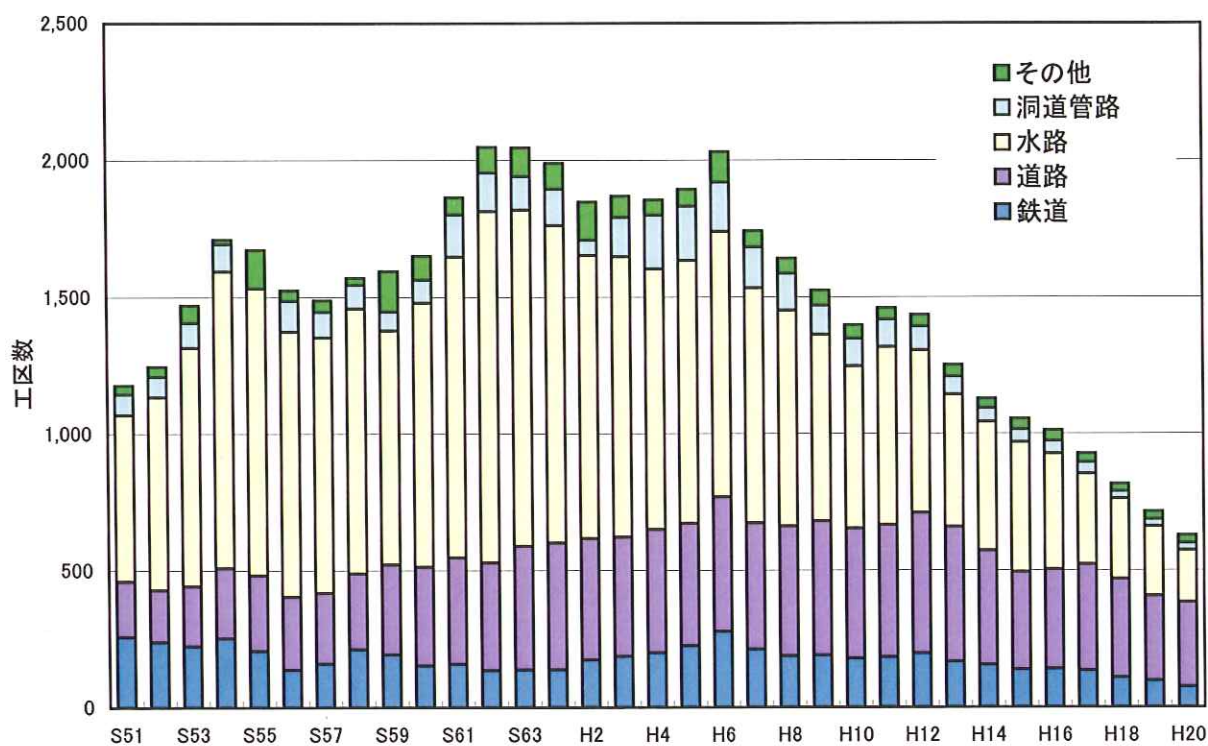


図-2 国内の工事量-工区数-の推移(地下街を除く)

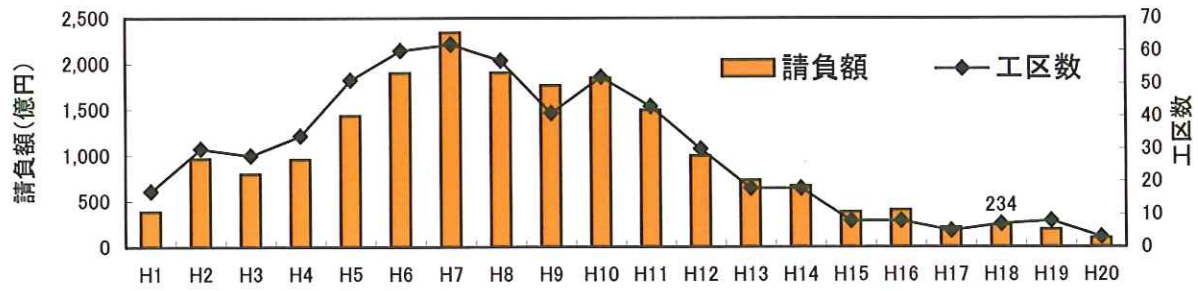


図-3 地下街・地下駐車場等工事の推移

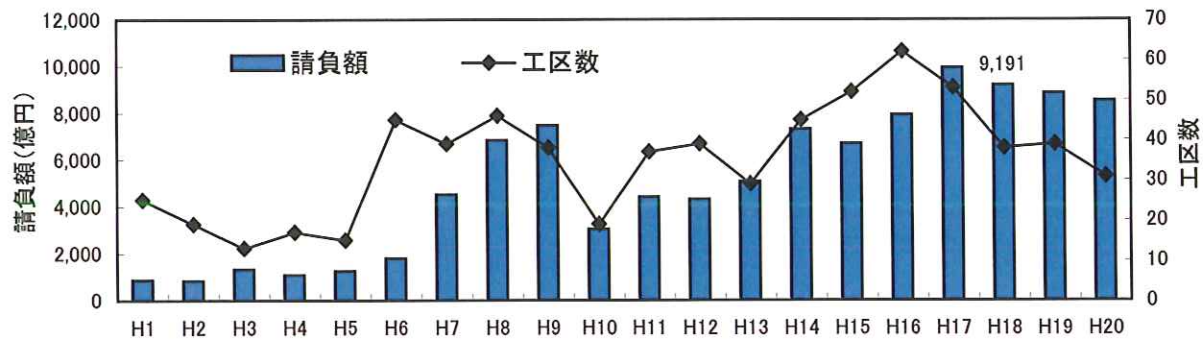


図-4 海外工事の推移

2) 用途別工事量の推移

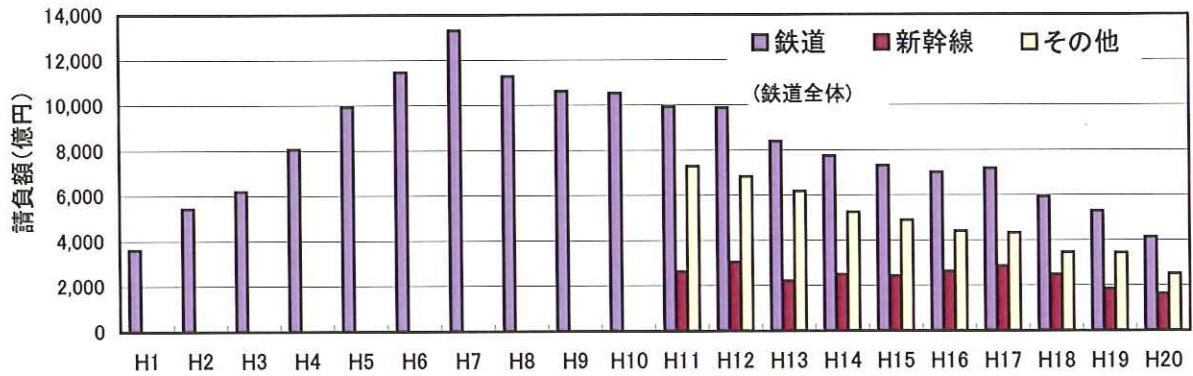


図-5 鉄道トンネルの推移

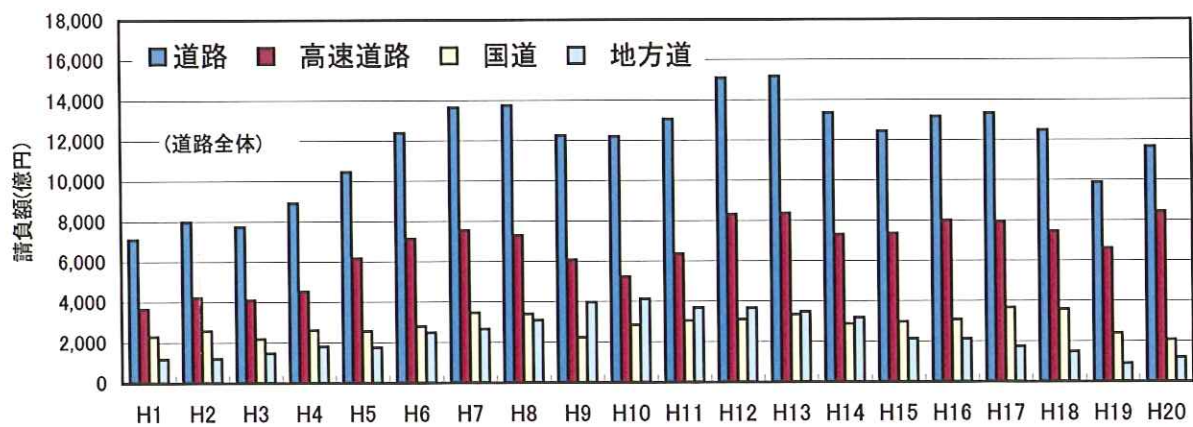


図-6 道路トンネルの推移

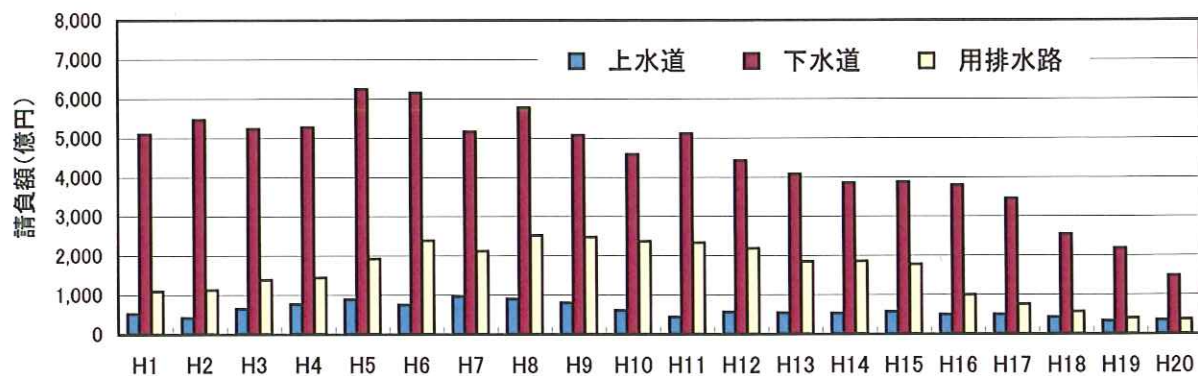


図-7 水路トンネルの推移

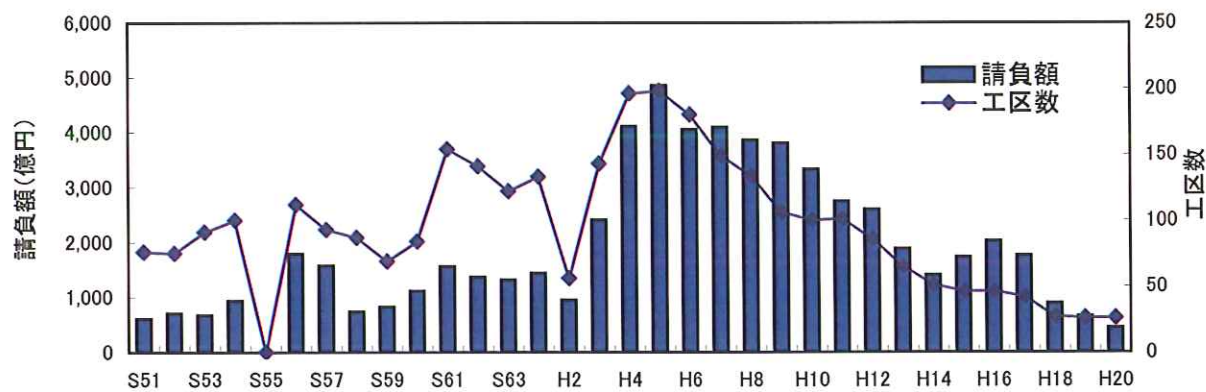


図-8 洞道管路の推移(専用洞道管路、共同溝等)

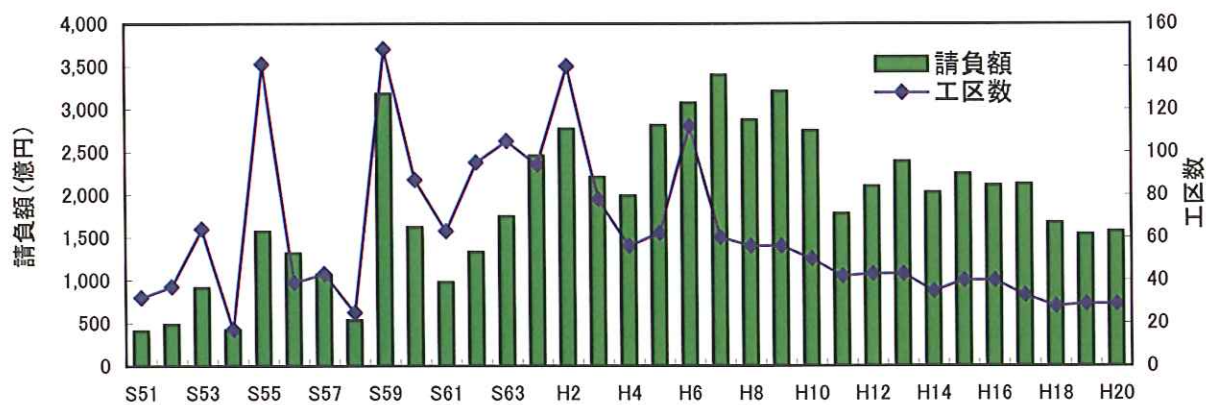


図-9 その他の推移(地下発関連、その他)

3) 施工中のトンネル現況(2008.12.1現在)

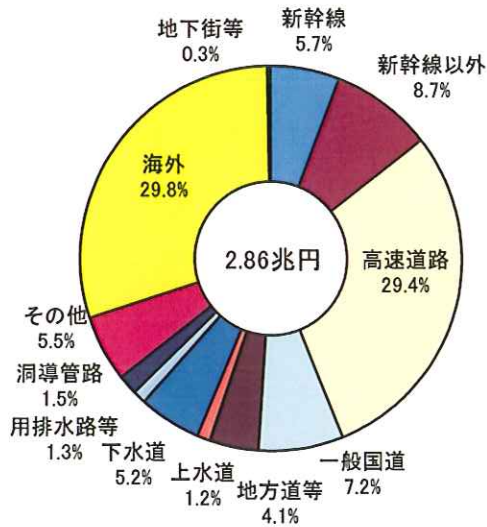


図-10 請負額の比率

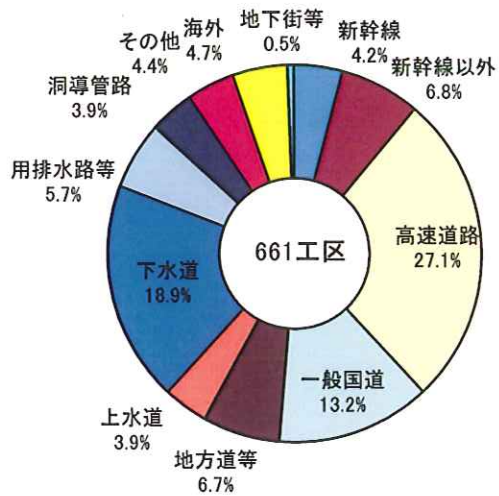


図-11 工区数の比率

以下は国内におけるトンネル工事(地下街等を除く)の現況である。

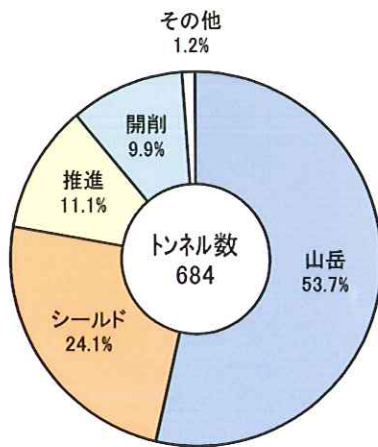


図-12 施工法別比率(トンネル数比較)

※トンネル数とは
1工区内にあるトンネル
の数をできるだけ抽出
した数を示したもので
ある。以下同じ。
(工区数<トンネル数)

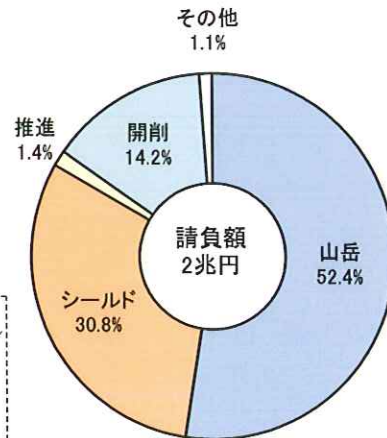


図-13 施工法別比率(請負額比較)

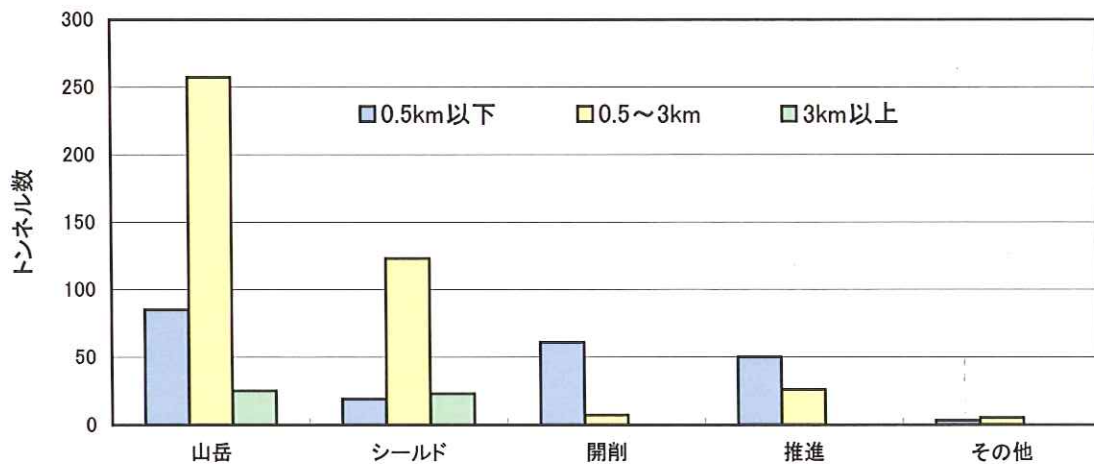


図-14 施工法と契約延長

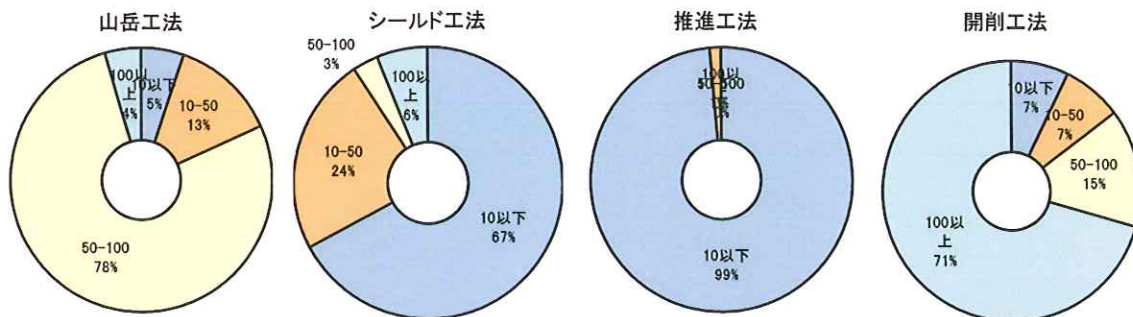


図-15 内空断面積(単位:m²)

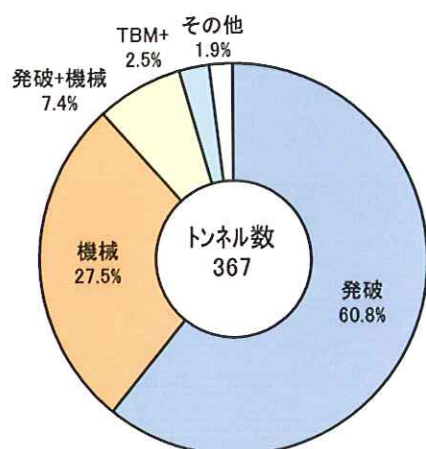


図-15 山岳工法の掘削方式の比率

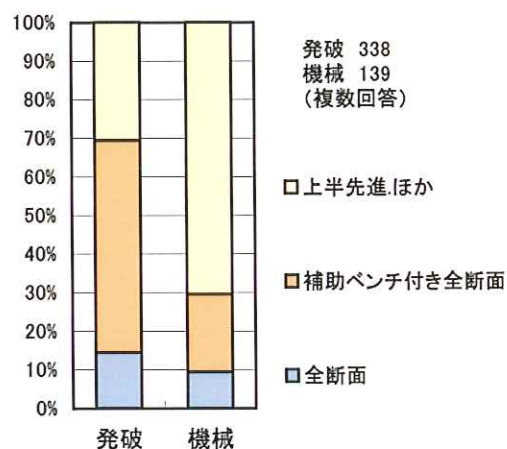


図-16 掘削方式と掘削工法

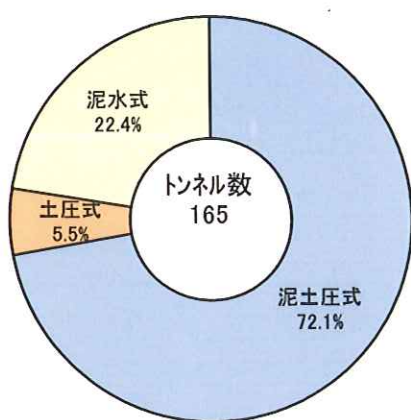


図-17 シールド工法の形式比率

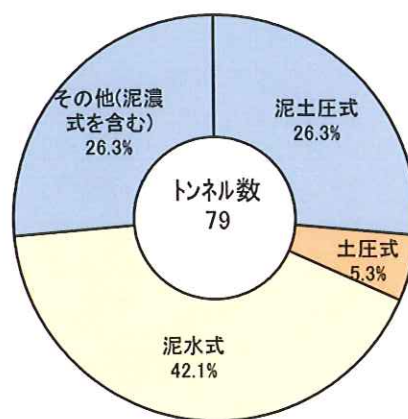


図-18 推進工法の形式比率

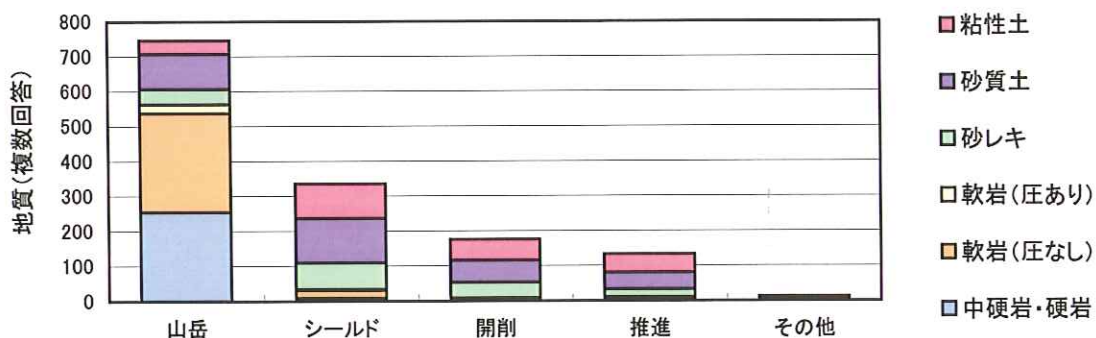


図-19 掘削工法と地質(重複回答)

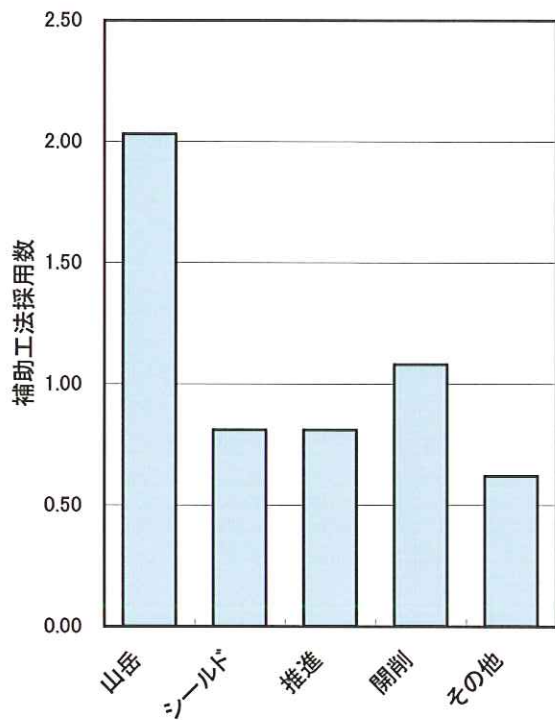


図-20 施工法と補助工法の採用数

(採用数=重複回答の補助工法の数/トンネル数)

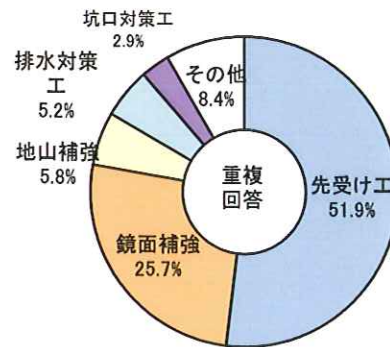


図-21 山岳工法における補助工法

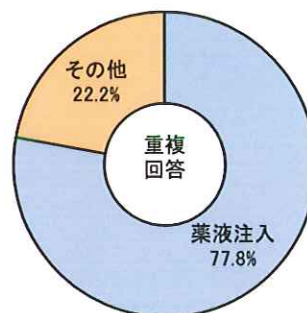


図-22 シールド工法における補助工法

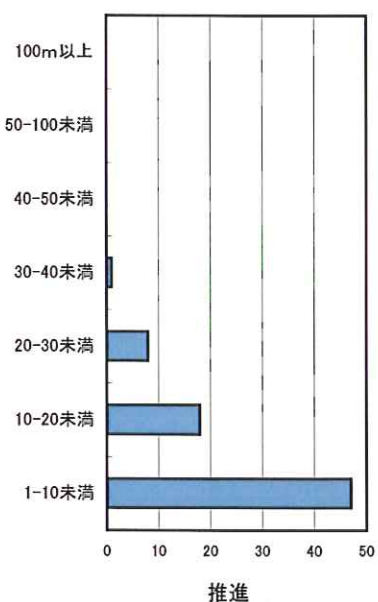
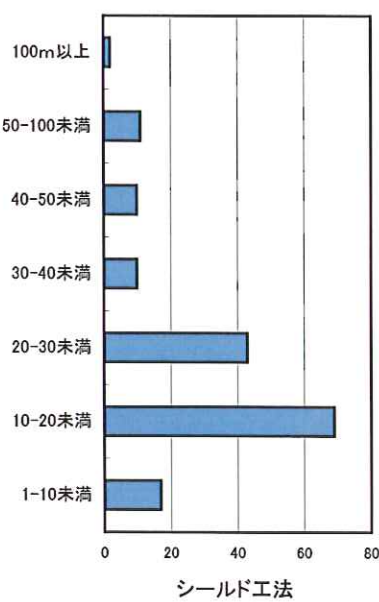
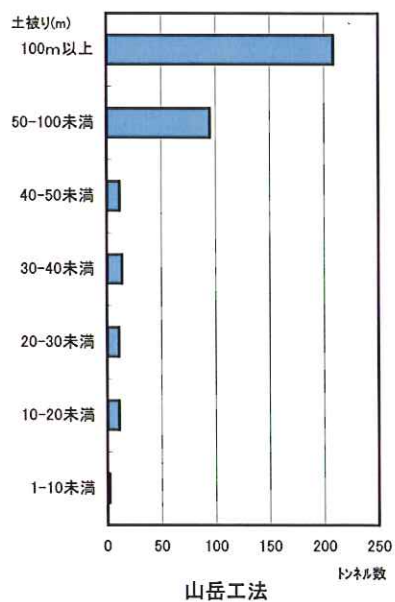


図-23 施工法と土被り